

## 第Ⅰ期・Ⅱ期一般廃棄物最終処分場維持管理記録票

平成28年8月

設置主体名	美幌町	汚水処理方式	生物処理(回転円板法)	
施設名	美幌町廃棄物処理場	汚水処理能力	25 m <sup>3</sup> /日	
埋立地面積	42,900 m <sup>2</sup>	汚水調整池容量	1,200 m <sup>3</sup>	
埋立地容量	391,955 m <sup>3</sup>	目標	BOD 30 mg/l	
技術管理者名	金澤亮	水質	SS 60 mg/l	

埋め立てた廃棄物の種類及び数量

一般廃棄物(可燃・不燃混合)	O t	O m <sup>3</sup>
あわせ産廃 ばいじん(下水汚泥焼却)	O t	O m <sup>3</sup>
汚泥(下水汚泥、無機汚泥)	O t	O m <sup>3</sup>

第Ⅰ期・Ⅱ期埋立処分場残余容量(平成27年度末) 4,605 m<sup>3</sup>

堰堤、遮水工、調整池、集水配管等の防凍、侵入防止柵、立札及び浸出液処理設備点検状況

1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日
○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○		○	○
17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日	
○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○		○	○

点検結果 ○:異常なし ×:異常あり ●:改修済

◎その他特記及び異常時に措置を講じた年月日及び内容等

地下水及び放流水の水質測定結果 (単位 / PH:- 大腸菌群数:個/cfuf)  
 ダイオキシン類: pg-TEQ/L その他の項目: mg/L

分析項目	放流水	地下水A	地下水B	分析項目	放流水	地下水A	地下水B
水素指数(PH)	7.6	/	/	シアノ化合物	/	/	/
生物化学的酸素要求量(BOD)	2.5	/	/	全シアノ	/	/	/
浮遊物質(SS)	2.4	/	/	ポリ塩化ビフェニル(PCB)	/	/	/
大腸菌群数	420	/	/	トリクロロエチレン	/	/	/
n-ヘキサン抽出物質(鉱油類)	/	/	/	テトラクロロエチレン	/	/	/
n-ヘキサン抽出物質(動植物油脂類)	/	/	/	ジクロロメタン	/	/	/
フェノール類	/	/	/	四塩化炭素	/	/	/
銅	/	/	/	1,2-ジクロロエタン	/	/	/
亜鉛	/	/	/	1,1-ジクロロエチレン	/	/	/
溶解性鉄	/	/	/	シス-1,2-ジクロロエチレン	/	/	/
溶解性マンガン	/	/	/	1,2-ジクロロエチレン	/	/	/
クロム	/	/	/	1,1,1-トリクロロエタン	/	/	/
ホウ素及びその化合物	/	/	/	1,1,2-トリクロロエタン	/	/	/
フッ素及びその化合物	/	/	/	1,3-ジクロロプロパン	/	/	/
アソニウム化合物、亜硝酸及び硝酸化合物	/	/	/	チカラム	/	/	/
窒素	16.2	/	/	シマジン	/	/	/
隣	0.1	/	/	チオベンカルブ	/	/	/
アルキル水銀化合物	/	/	/	ベンゼン	/	/	/
水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物	/	/	/	セレン及びその化合物	/	/	/
総水銀	/	/	/	1,4-ジオキサン	/	/	/
カドミウム及びその化合物	/	/	/	塩化ビニルモノマー	/	/	/
鉛及びその化合物	/	/	/	ダイオキシン類	/	/	/
有機磷化合物	/	/	/	塩素イオン	/	/	/
六価クロム化合物	/	/	/	電気伝導率	/	10.56	29.7
砒素及びその化合物	/	/	/				

備考1) 放流水の水質測定結果において、複数回実施している項目は月間平均値を記載。

備考2) 地下水Aは第Ⅱ期埋立地Bルート側、地下水Bは第Ⅰ期埋立地側の設置井戸より採水。 採水日 平成28年8月31日

◎その他特記及び異常時に措置を講じた年月日及び内容等

